

第3種郵便物認可

## おいしい米 食べ比べ



おいしい米のコンテストで日本一の賞状などを手にする小林達樹社長＝山形県庄内町、JA庄内たがわ新余目基幹支所

## 高山大宝「龍の瞳」日本一

山形県で「まんま農場」が出品  
コンテスト

高山市上宝町本郷の農業生産法人まんま農場が育てた米「龍の瞳」(品種・いのちの巻)が、山形県で行われた「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」(同実行委員会主催)で日本一の座を獲得した。(井上愛)

## 堆肥を使用 減農薬成果

同コンテストには、全国から二百六十九点の応募があり、公募の審査員らが食べ比べて、味、香り、食感などを審査。同農場の「龍の瞳」と「コシヒカリ」はベスト三十位に選ばれ、決勝大会に

進出。決勝では公募と日本穀物検定協会職員ら審査員十二人が食べ比べて、日本一を決定した。「龍の瞳」は先月、島根県であった「全国米・食味分析鑑定コンクール」でも品種部門で金賞を受賞。鑑定士ら専門家による審査でも高い評価を得ている。

また同コンクールでは、同町産の別の米二品もそれぞれ好成绩を収めており、米どころとしては無名だった同町が新しく脚光を浴びた。

同農場は、高齢で耕作できなくなった住民から計約十八畝の農地を借り受けて米を栽培。堆肥

(たいひ)などを使う減農薬に努めている。同農場の小林達樹社長(48)は「昔は水がなく桑畑だったところを苦勞して田んぼにした先輩方と、実り豊かな自然に感謝。これらの受賞が地域を元気にする起爆剤になれば」と話している。

県内総合 18



ニュースは下記へどうぞ